

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサークル宮地（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 17日		～ 2026年 1月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2025年 12月 22日		～ 2026年 1月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃から児童の状況を保護者と伝え合い、児童の健康や発達 の状況について共通理解ができている。	送迎時の引き渡しの際や、連絡帳を通して児童の状況等を保護 者へ伝達している。	保護者との関係をより強化し、保護者の悩みやニーズなどを 確認していき、児童の支援へと繋げていく。
2	こどもや保護者のニーズ、課題等を管理者、児童発達支援管理 責任者をはじめとするスタッフ全員で共有したうえで個別支援 計画を作成し、それに基づいた支援を行っている。	児童の発達や特性に応じた個別的な課題について、支援方法な どを職員間で検討、共有をしたうえで支援を行っている。	職員間での情報共有をより密に行い、児童の小さな変化等 を見逃さない体制づくりを行っている。
3	環境整備に努め、児童の特性に合わせて視覚的に分かりやすい 物の配置や掲示などを行っている。	児童が取り出しやすく片付けやすいよう、おもちゃ箱などに 入っているものの写真をつけることや、トイレや各部屋の入口 にイラストを掲示する等を行っている。	児童の特性に合わせて、視覚的のみならず聴覚や触覚に訴え るような物の配置を行い、児童にとって安全で過ごしやすい 環境作りを行っている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活 動する機会が少ない。	意図的に地域や他のこどもと関わるような企画等が少なく、事 業所内で行う活動が多くあるため。	地域のイベントに積極的に参加することや、地域を巻き込ん だ活動を企画し、周知していくことが必要である。
2	保護者同士の交流の機会を十分に提供できていない。	保護者会やきょうだい向けイベントの内容が定まっておらず、 頻度も多くないため、保護者へ浸透していないため。	定期的に保護者会やきょうだい向けイベントを企画・実施 し、保護者へ案内をすることで周知を図っていく。
3	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防 犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定されているが、 すべてのマニュアルについて保護者へ周知されていない場合が ある。	契約時の説明の不十分さや、普段からマニュアルについての話 題がないことが考えられる。	定期的に各マニュアルや訓練についての案内や説明を保護者 に対して行うことも有効である。